

ウィークリー

2017年4月6日開会 (通算7回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

君が代



奉仕の理想



会長挨拶



職業奉仕

今日は、ロータリーの金看板である、「職業奉仕」について私見を述べさせていただきます。ロータリーの五大奉仕の1つに職業奉仕があります。クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕と比べると、解りにくく・見えにくいものと感じるのは私だけではないと思います。

*職業観

「職業奉仕」という難題ですが、まず「職業の原点」について考えてみました。
キリスト教の正典(せいてん)である旧約聖書(1世紀末に正典化された)には、禁断の実を食べたアダムの罪に対する罰として、「地から苦しんで植物を取る事」、つまり「労働」を課したとされています。
この考え方に基づけば「労働=職業」は神が原罪を犯した人類に課した「罰」が「職業」という考えに行き着きます。
西欧社会では、出来るだけ早く引退し、食べるための労働から解放されてボランティア活動など様々な奉仕活動を行ったり、余暇を楽しんだりする人生を理想とする人が多いのもこの職業観によるものと思われます。
ただ、仕事(労働)というのは、神に対する責任であるので、より良い仕事をなさねばならないという思想も内包しているので、「労働を忌避すべきもの」と単純に割り切っているわけではないでしょう。

一方、日本での「職業観」は、非常にポジティブであります。人の理想的職業観である「天職」という言葉などは、それを端的に表しているといえるでしょう。働くことは喜びであり、人のためになり、社会のためになり、人は死ぬまで働けることが理想であるとする観念は過去も現在も強く我々の内にあると思われます。

*職業の二面性

職業とは、生計を立てる手段であると同時に、人のため・世のために役立つ仕事と言えます。また、自分のためであると同時に他人のためのものであることも出来ます。即ち、職業の二面性としての「自利性」と「他利性」をあわせもっているのが職業であります。ここで、どちらを優先させるか、どのように調和させるかが問題となります。結果的には社会に認知されなければならないということでもあります。
近江商人(鎌倉時代から)の「三方よし」の考え方である、「売り手よし・買い手よし・世間よし」でしょうか?(ただし世間はどんどんと無くなりつつあります)

自己の利益に重点をおくと、いろいろと問題となります。社会的に信用を得なければ職業は成り立たないということでしょう。その為には、倫理的な理念が求められます。
それは、ロータリーの「四つのテスト」(1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるか)を実践することではないかと思えます。

「普通に仕事をする事」が職業奉仕であってほしいと思っています。それなら私にも出来そうだからです。

幹事報告



- ・4月のロータリーレート116円
- ・第18回ロータリー国際囲碁大会(6/3(土)15時～ @台湾)
- ・4/22地区協議会出席者へ詳細案内配布しています。
- ・本日18:30～打ち上げです。(会場詳細は昨日メールでお送りしております。)
- ・今年度組織表(新入会員含む)

- ・3/22岡崎RCへチャーターナイトの御礼をかねてメイキャップに行ってきました。
- ・4/12は名駅RCへ会長・幹事・副幹事・会計で何う予定です。
- ・事務局GW休暇は4/29～5/7となります。

委員会報告



【出席・ニコボックスより】

(出席報告)	会員数	出席数	出席率
前回(3/16木)	43名	38名	88.3%
今回(4/6木)	43名	24名	55.8%

(ニコボックス)

出口 茂	長谷川 裕一	樋口 昌男
河合 秀紀	清 訓芳	小林 弘和
水野 紀孝	奥村 与幸	菅原 浩昭
鈴木 拓将	高木 俊郎	山口 太郎
第6回例会後の打ち上げも楽しみましょう		

豊田東ロータリークラブ 平野 恒弘 本日はメイキャップに参りました。 よろしく願いいたします。
名古屋錦ロータリークラブ 石井 弘子 はじめてうかがいました。楽しみにして参りました。
大口 弘和 台北石橋RCの二周年記念例会に出席してきました。
高木 勝 本日会員の樋口さんのお店にてチャーターナイト打ち上げにてお世話になります。
加藤 謙一 長男誕生日 3月30日 長女誕生 4月4日
遠山 堯郎 かとけんさん 新しい命の誕生おめでとう
堀田 崇 三女が本日入学式を迎えました。
佐野 洋一郎 本日、長男 小学校入学式です。

卓話

会員イニシエーションスピーチ②



出口 茂



権田 淳裕



樋口 昌男



堀場 和孝



堀田 崇



河合 秀紀



小林 弘和



牧野 敬充